

手順	項目	作業
1、	市場、企業の大きさ、業種	投資金額:100万円、検索条件:出来高多く50円以上、市場:東証
	株価動き:上昇回数と上昇平均	上昇回数:大と中と(小:中期投資)、上昇平均:大と中
	株価水準:	上昇回数:中と小、上昇平均中
2、	業績をチェック-1	高値水準は除外する。チャートで右上がり、抵抗ラインがグラフの上の方にあるチャート。
	業績をチェック-2	増益率、PER、配当利回りの順でソーティングしてみる。何処でも、上位に来る会社が良い。
	業績をチェック-3	上昇率20%~25%以下はカット。
	選択順位-1	最適指標のマークが多いほど良い傾向(但し業績が悪くても出るから注意)。
	選択順位-2	増益率がプラスの会社で、PERが同業種に比べて低いこ
	選択順位-3	トレンド波動ラインで上昇率をチェック。週足。
	選択順位-4:株価四季報	会社ランクと株価で会社実績、株価などを確認する。
3、	選択順位-5:抵抗ライン	上値抵抗ライン(青色)の表示がある株は、買には使用しな
	選択順位-6:抵抗ライン (0~200ポイントのランク付けあり)	第一抵抗ライン(黄色):可能性大、第二抵抗ライン(オレンジ色):よく知っている会社なら買う、第三抵抗ライン(赤色):まず買わない。
	業績をチェック-4	決算情報を確認して、予測に減益があると買わない。
	選択順位-7:KMライン	UCL(アッパー赤)・CCL(センター黄)・BCL(ボトム青)このラインに株価が接近しているときには強力な抵抗ラインとして機能する。
	選択順位-8:KMライン	KM、抵抗、押し目ライン、株価四季報株価の合わさる所を
4、	購入価格決定-1	優先順位はKM、抵抗、押し目ライン、株価四季報株価の順で決める。出来高の少ないエリアで買う。切れの良い数字の少し上にする。
	購入価格決定-2:価格帯別出来高	現在値の下に出来高が多いと下げ止まり。
	購入価格決定-3:押し目ライン	日足で見る。上昇トレンド銘柄は1/3押し、急騰銘柄は1/2押し、弱気なときは2/3押し。
	期限指定	ケンミレの指針、もしくは自分で平均を取る。
5、	売り価格の決定-1	利益は10%~15%を確保し、プラス手数料を差し引く(売買計4,830円)
	売り価格の決定-2:価格帯別出来高	現在値の上に出来高が多いと上げ止まり。売値はこの手前にする。
	売り価格の決定-3:株価四季報	売り価格を確認する。
	売り価格の決定-4:重要	「売れる可能性の高い」参考値で必ず確認する。
	ロスカット価格の決定	買値の15%ダウン、もしくは抵抗ラインの10%ダウン
	期限指定	ケンミレの指針、もしくは自分で平均を取る。
6、	会社確認	各社のホームページで、製品系列と社長の顔を確認する。社長の顔が出ていない会社は買わない。
	ホームページ登録	購入できた会社は、お気に入り登録。

抵抗ラインのスコアは0~200P

5年以上の上場期間がある銘柄の方が『よりスコアの正確度はアップ』

『短い期間で計算された抵抗ラインの場合は信頼性は劣る』

140~145P以上あると強い下値抵抗ライン